

校長室だより

第13号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和8年3月9日（月）発行

○2年生校外学習

2年生は本年度、万博への訪問もあったため、例年より遅く3月6日（金）にアクトランド YAO への校外学習を実施しました。生徒たちはいつも通りの時間に登校し、諸注意の後に堅下駅まで移動しました。電車内でもマナー良く過ごし、10時前に目的地に到着しました。キャンプ場のルールや調理器具の説明を受け、班別で調理を開始しました。慣れない火おこしや包丁の扱いに苦戦しながらも、みんなで楽しく和気あいあいと調理をしていきました。今回の校外学習のテーマは「班対抗鍋対決」ということで、各班の個性あふれる鍋が出来上がりました。各クラスの「キングオブ鍋」は教員が決めるということで、どの班も自慢の鍋を教員に振る舞いました。私もお腹がいっぱいになるまで試食させていただきましたが、本当に甲乙のつけ難い出来でした。予想以上に量が多く、食べ切るのに時間がかかってしまい結局レクリエーションの時間が取れなくなってしまいました。しかし、「来た時より美しく」を心がけ、みんなで協力してきれいに片付けまでできていました。その後お世話になったスタッフの方々にお礼を言い、往きと同じコースで帰途について、15時30分頃に堅下駅にて解散となりました。

鍋の具材はそれ単体で食べるより鍋にした方がより美味しく感じられるように、80期生もそれぞれの個性が集まりみんなで協力して取り組むことにより、その良さが更に引き立つと思います。学年末にまたひとつ80期生の良さが輝く行事ができて本当によかったです。

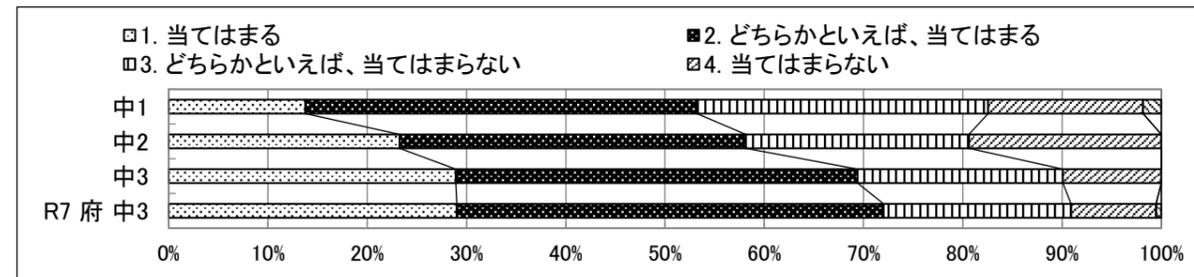
この行事を行うにあたり、ご家庭にも食材の保管など大変ご協力いただき誠にありがとうございました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。



○中学生チャレンジテスト（1、2年生）の結果

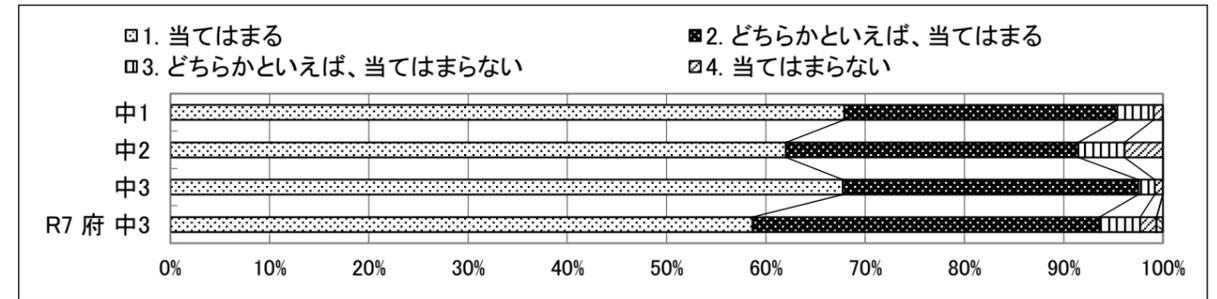
1月14日（水）に行われた1、2年生の中学生チャレンジテストの結果が返ってきました。平均正答率においては1、2年生合計8教科中5教科が大阪府平均より上回っており、良い結果だったと思います。これで3学年分の結果が揃いましたので、テストと同時に行われたアンケート調査の結果について学年の比較をし、特徴的なものをいくつか紹介します。

問5 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



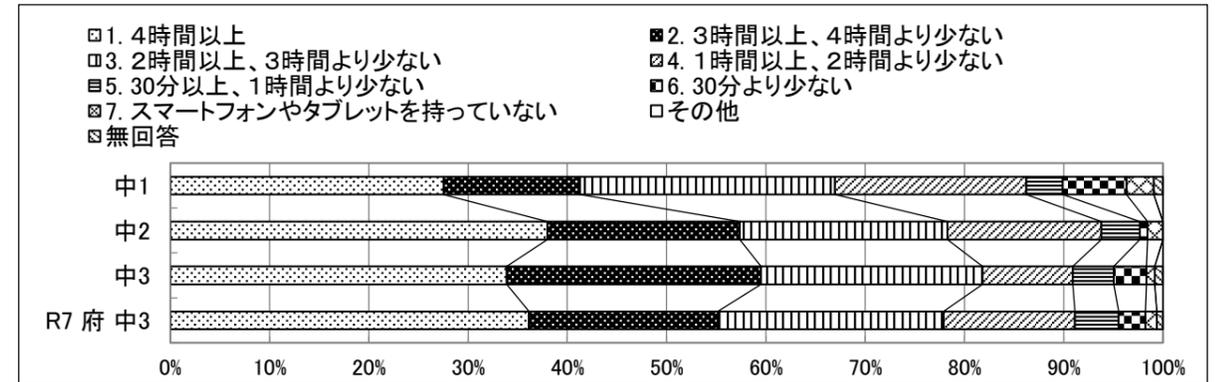
学年が上がるごとに肯定的回答（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計）が伸びているという良い傾向が見られます。とはいえ大阪府の3年生よりは低い値であり、引き続き家庭学習の推進に取り組む必要があると思われます。

問7 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



肯定的回答は全学年90%以上で、「あてはまる」は大阪府の3年生を超えており、「どちらかといえば、当てはまる」を加えた肯定的回答においても1、3年生が超えています。班活動をはじめ、学校では仲間と協働で取り組むことが多く、その成果が見て取れます。

問11 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



昨年に比べ3学年ともに減少傾向は見られますが、3時間以上という観点で見ると2、3年生で大阪府の3年生を超えており、55%以上に及びます。本年度もSNSに関わる生徒同士のトラブルは多数生起しており、学校でも指導をしていますが一向にならならないのが現状です。この結果をもとに各ご家庭においても使用上のルールについて話し合い、適切な使用方法・使用時間となるようご協力をお願いいたします。



（美術部による卒業生へのお祝いアート）